



# 鶴見

海をめざして ～海と歴史を感じながら  
ゴールで海の絶景に出会う～

## 鶴見区埋め立ての歴史

鶴見はかつて、農業や漁業が盛んな地区で、海辺では潮干狩りや海水浴も行われていました。大正時代から工業地帯造成のための埋め立て工事が進められていき、現在では鶴見区の総面積の約3分の1が埋立地となっています。鶴見の街を歩くと、明治時代の海岸線を境に、埋め立てられた土地には企業の工場などが多く並んでいるを感じることができます。

### 1 じゃか蛇も蚊も祭り

原の神明社と道念稲荷神社で行われる祭り。かやで作った20mほどもある蛇を担いで町内を回ります。



約300年前から続く伝統的な行事で、一説には悪疫が流行した際に、かやで作った大きな蛇に悪霊を封じ込めて海に流したことが始まりだと言われています。

### 2 生麦魚河岸通り



年に一度の生麦旧東海道祭りでは、多くの人でにぎわいます。通りを右に曲がり貝殻浜を目指しましょう。

### 3 貝殻浜(鶴見川河口干潟)



貝殻が積もった真っ白な干潟。いろいろな形の貝殻が落ちています。水辺の鳥、カニ、ハゼのなかまなど、多くの生き物が生息しています。横浜市北部唯一の干潟。大切にしたいですね。



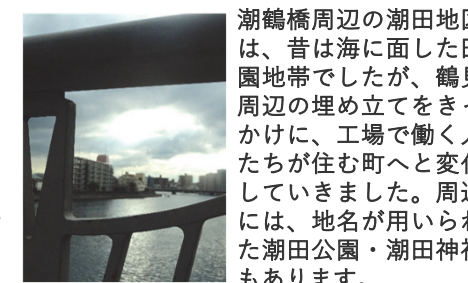
所要時間  
約1時間

距離  
約4.5km  
+  
弁天橋駅  
～海芝浦駅

JR線 京急線  
明治期の海岸線

出典：地図は、横浜市の都市計画図をもとに作成しています。  
【横浜市地形図複製承認番号 令2建都計第9010号】  
明治期の海岸線は、国土地理院古地図コレクション  
サイトの「迅速測図原図(フランス式彩色図)」を  
もとに作成しています。

### 4 潮鶴橋



潮鶴橋周辺の潮田地区は、昔は海に面した田園地帯でしたが、鶴見周辺の埋め立てをきっかけに、工場で働く人たちが住む町へと変化していきました。周辺には、地名が用いられた潮田公園・潮田神社もあります。

### 5 潮田神社



かつては海浜に位置しており、漁船が大漁祈願に訪れるなど信仰を集めました。

江戸時代の文人、蜀山人の「調布日記」にも登場する「海翁石」で造られた手水場。



### 6 海芝浦駅と海芝公園



つばさ橋や行きかう船、夜は工場の明かりが見える。絶景!

電車の本数が少ないので、事前に行き帰りの時刻表をチェックしよう!

### コラム

横浜市は、鶴見川河口で生き物の調査をしています。

	きれいな水を好む魚も多く確認されています。		温暖化の影響とみられる、南方系の生き物の生息も確認されています。

詳しくは… [横浜の川と海の生物](#) [検索](#)

※改札を出ることはできません。  
※往復の乗車券が必要です。

